

contents

- ・ 病院長新年のご挨拶
- ・ 診療科紹介 顎口腔外科
- ・ 就任教授紹介
- ・ 最新 PET-CT 導入
- ・ 病院ニュース 44 号の発行
- ・ 年末年始の診療記録



編集：杏林大学医学部付属病院
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel 0422-47-5511（代表）

杏林大学病院



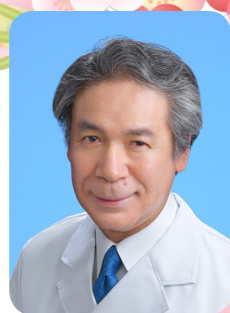
新年のご挨拶

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。昨年は年初より新型コロナウイルス感染症に日本中が席卷されました。皆様におかれましても大変なご苦勞を強いられたものと拝察しております。当院も昨年末から年始にかけて院内で感染が生じるなど穏やかな新年を迎えることができませんでした。しかし、関係部署の献身的な働きにより順調に通常診療に戻ることができました。

皆様にはご心配とご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げますと共に、多方面でご協力賜りましたことに心から御礼申し上げます。

当院は昨年 11 月から最新の PET-CT の運用を開始し、順調に症例数を伸ばしております。また、1 月からは脳神経外科と小児科に新任の教授が赴任し、両科の診療がより充実いたします。新型コロナウイルス感染症がいまだ猛威を振るう困難な状況ではありますが、地域の皆様にご協力をいただいて特定機能病院としての役割を果たしていく所存です。

皆様がこの 1 年健康で穏やかに過ごせますよう心からお祈り申し上げます。



病院長 市村 正一

就任 教授紹介



(教授)
脳神経外科
なかとみ ひろふみ
中富 浩文

東京大学医学部 卒業 医学博士
東京大学医学部附属病院、米国メイヨー医科大学、米国シンシナティ大学、虎ノ門病院、東京大学医学部附属病院を再び経て、2021 年 1 月杏林大学着任

多摩地区に位置する唯一の大学病院としてあらゆる高難度かつ低侵襲の手術をこなし、高度な先端診療を行ってまいります。同時に、病院の理念である「あたたかい心のかような良質な医療を提供する」を貫徹し、医療難民を作らせない基本姿勢で一般脳神経外科疾患の地域医療に貢献します。

今後とも引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



(教授)
小児科
なりた まさみ
成田 雅美

東京大学医学部 卒業 博士（医学）
東京大学医学部附属病院、日本赤十字社医療センター、米国カリフォルニア大学サンディエゴ校博士研究員、国立成育医療研究センター、都立小児総合医療センターなどを経て、2021 年 1 月杏林大学着任

小児医療では疾患に対する専門的診療だけでなく、成長発達や心理的背景、家庭・社会状況も見据えた包括的な対応が重要です。子どもの診療を通じて家族全体の QOL 向上に貢献できるような医療を目指します。

今後とも地域の医療機関の皆様のご支援・ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



(臨床教授)
循環器内科
こうの たかし
河野 隆志

慶應義塾大学医学部 卒業 博士（医学）
慶應義塾大学病院、東京歯科大学市川総合病院、米国イリノイ大学シカゴ校 Postdoctoral research Associate などを経て、2019 年杏林大学着任。2020 年 10 月臨床教授就任

超高齢社会において急増する循環器病患者に対する健康寿命の延伸は大きな課題です。私は、患者さんに寄り添う患者さん中心の医療、最先端の質の高い安全な医療、超高齢社会における都市型地域医療を推進したいと考えております。

皆様の診療ニーズに沿えるよう尽力致しますので、今後ともご指導よろしく申し上げます。



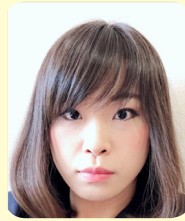
病院ニュース 44 号は、「2020 年拡大版」として 2020 年 11 月に冊子形式で発行しました。
東京都医師会副会長、多摩府中保健所所長、三鷹市医師会会長との座談会
「新型コロナウイルス感染症への対応検証と今後の課題」の模様を掲載しています。



齋藤 康一郎
(教授・診療科長)



池田 哲也
(講師)



湯本 愛実
(助教)



林 直樹
(助教)



遠藤 真央
(レジデント)

当科では顎口腔領域に発生する疾患について対応しております。耳鼻咽喉科と常に連携し診療にあたっているため、病変が咽頭、頸部、鼻・副鼻腔に進展した場合でも速やかに対応することができます。

＜主に扱っている疾患＞

顎口腔領域における感染症（歯性副鼻腔炎、歯周組織炎起因の顎骨蜂窩織炎、骨吸収抑制剤関連顎骨壊死）、顎関節症、顎関節脱臼、口腔粘膜疾患（難治性口内炎、舌炎、舌痛症、口腔扁平苔癬、白板症、口腔カンジタ症など）、抜歯手術（埋伏智歯、過剰歯、有病者の抜歯）、顎口腔領域の外傷（口唇・舌裂傷、歯冠・歯根破折、歯槽骨および顎骨の骨折など）、顎骨病変（顎骨のう胞、歯源性腫瘍）、唾液腺疾患（口腔乾燥症、シェーグレン症候群、唾石症、粘液嚢胞）、口腔インプラント、睡眠時無呼吸症候群の口腔内装置の作成

また、全身麻酔管理を受ける患者全症例を対象に、口腔内の評価（喉頭展開時に脱落または損傷する恐れがある歯の有無、劣悪な口腔衛生状態か否かなどについて）を行っております。周術期口腔衛生管理により、術後合併症の減少や手術侵襲からの回復促進によると思われる術後在院日数の削減が認められています。

■ 最新 PET-CT 導入で悪性腫瘍等の検査精度が向上

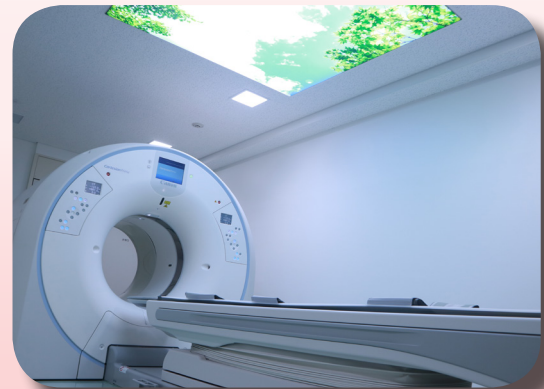
放射線治療・核医学棟に最新のデジタル PET-CT「Cartesion Prime」が 2020 年 11 月に導入され、悪性腫瘍の病期（ステージ）診断や腫瘍の再発・転移診断で活用されています。

本装置は、半導体を使用した検出器を用いることにより、従来型 PET よりも短時間で優れた画像を得ることができます。さらに、高感度な画像の取得が可能となったことで、検査時間も従来の 2/3 ほどに短縮されました。放射性薬剤の投与量も低減できるため、患者さんの負担を軽減することができます。CT も検査時に被曝量を低減する最新のシステムが導入されている他、PET-CT に用いられているものでは現状で最多となる 80 列の多列検出器が用いられており、高精度な画像取得が可能です。

また、検査室には 6 席の待機スペースを設置しています。薬剤投与から検査までの約 3 時間をリクライニングチェアでリラックスしてお過ごしいただけます。

人間ドックでは、PET 検査コース・オプション検査を 2021 年 2 月から開始する予定です。

詳細は病院 HP「人間ドック」をご覧ください。



テレビモニターが設置されたリクライニングチェア

－ 年末年始の診療記録 －

昨年 12 月 28 日夕方から 1 月 4 日朝の年末年始に当院で行った診療状況をご報告します。

診療科別患者数（1・2 次救急）

患者数	(人)	救急車台数	(台)
1・2 次救急	834	1・2 次救急	81
3 次救急	44	3 次救急	44
計	878	計	125

診療科名	救急総合	内科系	外科系	精神科	小児科	小児外科	脳神経外科	心血管外科
患者数 (人)	251	90	15	3	81	11	30	2
診療科名	皮膚科	形成外科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	産婦人科	脳卒中センター	整形外科
患者数 (人)	43	82	14	81	42	15	8	66

